

収入計算書[前年 (2020 年 1 月～ 12 月) 用]

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み（「スカラネット」への入力）を行います。

○学校名 東京 大学 研究科

○課程 (該当の数字に○) :

1. 修士・博士前期課程 2. 博士後期課程 3. 博士医・歯・薬 (4 年制)・獣医学課程 4. 法科大学院

○氏 名 _____

○学籍番号 _____

[各項目 1 万円未満切り捨て]

1. 前年 (2020 年 1 月～ 12 月) の収入額 【証明書類必要】		
	収入項目	収入額 (A)
定職 (○)	定職 (本人)	(年額) _____ 万円
	定職 (配偶者) [該当者のみ]	(年額) _____ 万円
アルバイト (○)	アルバイト 1	(年額) _____ 万円
	アルバイト 2	(年額) _____ 万円
	アルバイト 3	(年額) _____ 万円
父母等からの給付額 (★)		(年額) _____ 万円
奨学金		(年額) _____ 万円
その他の収入 (利子・配当・不動産・年金等の公的手当て・預貯金の取崩等)		(年額) _____ 万円
ア	収入額合計 (※)	(年額) _____ 万円

2. 申込者本人 1 人にかかる 前年 (2020 年 1 月～ 12 月) の支出額 [申告のみ：支出についての証明書類不要]	
支出項目	支出額
日常生活費 (食費・住居費・光熱費等) (☆)	(年額) _____ 万円
授業料	(年額) _____ 万円
通学費 (定期代等)	(年額) _____ 万円
その他の費用 (書籍費・遊興費・課外活動費 等)	(年額) _____ 万円
支出額合計 (※)	(年額) _____ 万円
[記入時の注意事項] ◎複数あるために欄が不足する場合は、合計額を記入 (アルバイトは 1・2 に記入後、3 に残りをまとめて記入)。ただし、証明書類は全て提出してください。 ★計上する場合、前年用裏面に月別内訳を可能な限り記入してください。また、父母等給付者の自署が必要です。 ☆自宅通学者は、世帯一人当たりの経費 (世帯年間経費/家族人数) を記入してください。	

※ 「収入額合計」≧「支出額合計」とならない場合は、記入の誤りがないか再度見直してください。
収入額合計は、0 万円にならないよう記入してください。

・この収入計算書に記入した内容に基づき、前年と本年見込 (前年に対して変動が見込まれる場合に限り) の収入金額をスカラネットに入力してください。
・必要となる証明書類は裏面に添付してください。 [裏面につづく]

証明書類貼付欄

- ・ 証明書類は、この欄に本紙と上下の向きをそろえて、ホッチキスで上部 2 点を留めてください。

学校指定の様式がある場合は、そちらに貼付してください。

その場合、本用紙への貼付は不要です。

書類の提出方法については、学校の指示に従ってください。

★父母等からの給付額について

下記の者が日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、申込者本人への給付額については、以下のとおりであることに相違ありません。

○申込者氏名 _____

○給付者氏名【自署】 _____ ○申込者との関係（続柄） _____

[千円単位：合計欄のみ 1万円未満切捨て]

(2020年)

1月	千円	8月	千円
2月		9月	
3月		10月	
4月		11月	
5月		12月	
6月		小計	万円
7月			

[月別に記入できない場合は、年額のみを合計欄に記入してください。]

前年用と本年見込用が表面の位置とは左右反対になっておりますので、ご注意ください。

本年見込の収入について、前年と変動しない場合、この面の記入は必要ありません。

本年見込用（裏）

証明書類貼付欄

- ・ 証明書類は、この欄に本紙と上下の向きをそろえて、ホッチキスで上部2点を留めてください。
- ・ 収入年額の推算が必要な場合は、下部スペースに計算式を記入し、推算した年額を表面記入欄に記入してください。

学校指定の様式がある場合は、そちらに貼付してください。

その場合、本用紙への貼付は不要です。

書類の提出方法については、学校の指示に従ってください。

★父母等からの給付額について

下記の者が日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、申込者本人への給付額については、以下のとおりであることに相違ありません。

○申込者氏名 _____

○給付者氏名【自署】 _____ ○申込者との関係（続柄） _____

[千円単位：合計欄のみ1万円未満切捨て]

(2021年)

1月	千円	8月	千円
2月		9月	
3月		10月	
4月		11月	
5月		12月	
6月		合計	万円
7月			

[月別に記入できない場合は、年額のみを合計欄に記入してください。]

前年用と本年見込用が表面の位置とは左右反対になっておりますので、ご注意ください。